

「県民医療の最後の砦」として医療を提供

県立三好病院

「四国中央部」の拠点

- ・西の砦としての「救急医療」の拠点
- ・フルセットのがん治療など「高度医療」の提供
- ・西部公立3病院の連携による「地域医療」の充実

県立海部病院

「県南部」の拠点

- ・南海トラフ巨大地震を迎え撃つ「災害医療」の拠点
- ・海部・那賀モデルの推進による「地域医療」の充実
- ・地元医師会・看護協会等との連携による「在宅医療」の推進

県鳴門病院

- ・人材交流や情報共有

県立中央病院+徳島大学病院

本県医療の中核拠点

- ・県下全域を対象とした「救急医療」の拠点
- ・M Z本部としての「高度医療」の拠点
- ・医師育成の「臨床研修」の拠点



更なる拠点機能の強化に向けて
施策の方向性

医療連携

地域医療機関等との連携による

「県内医療の最適化」

- ICTを活用した医療連携の充実
- ヒト・モノ・情報における更なる連携強化
- 在宅診療・在宅介護等の関係機関との連携



医療人材確保

地域医療を担う医師等の「活躍拠点」の構築

- 若手医師の教育環境の充実
- 認定看護師等の計画的養成
- 地域の医療機関が連携した地域枠医師の育成



機能強化

一歩先の未来を見据えた「先進的」な病院づくり

- 次世代ICT・IoTを活用した診療機能の強化
- 未来を見据えた戦略的な医療機器整備
- 安定的・持続可能な経営基盤の確立



県民が「等しく質の高い医療」を受けることができ、「安心して暮らせる徳島」の実現へ